

平成17年度第12回（第26回）役員会議事要旨

日 時 平成18年2月8日（水）11時10分から12時5分
場 所 事務局3階応接室
出席者 小島学長、西澤理事・副学長、川崎理事・副学長、西口副学長、
石崎副学長、佐藤事務局長
陪席者 赤羽附属図書館長、増子監事、丸山監事

第25回議事要旨について

学長から、第25回議事要旨案について説明があり、案のとおり承認した。

議 題

1 総人件費改革について

西澤理事・副学長から、資料1-1、1-2（平成18年2月7日（火）開催：第6回国大協関東・甲信越地区支部会議配付資料）に基づき、次のことについて説明があった。

- ① 総人件費改革については、閣議決定で国立大学法人も対象とされており、かつ中期目標等にも記載することとされていること。
- ② 平成17年度の人件費予算相当額をベースにして、平成18年度から平成22年度までの5年間で5%削減（国立大学法人は、当面平成18年度から平成21年度で4%削減）することが必要で、中期目標及び中期計画の変更案を2月中に提出を求められていること。
- ③ 削減実績は予算ベースではなく、実績ベースであること。
- ④ 平成17年度の人件費予算相当額のベース以後の定員増については、考慮しないとのこと。

審議の結果、総人件費改革を実施することとし、人件費削減の取組策は、今後、他大学の動向、本学の事情等を考慮しながら、慎重に検討することとした。

なお、学長から、中期目標及び中期計画の変更案については、2月27日（月）までに文部科学省に提出する必要があるため、次回（2月22日（水）開催）の本会議で審議したい旨の説明があった。

2 その他

なし

報 告

1 学長選考規則及び学長選考実施細則の制定について

西口副学長（学長選考会議委員）から、資料2-1、2-2に基づき説明があった後、本規則及び細則は、1月12日（木）開催の第6回学長選考会議の議を経て制定された旨の報告があった。

2 決算剰余金について

学長から、資料3に基づき、前回（1月11日（水）開催）の本会議で報告があった決算剰余金（大臣承認予定額 29,143 千円）について、文部科学大臣から正式に承認された旨の報告があった。

3 監事に対する各系の現状報告について

学長から、資料4に基づき、各系の系長等から、増子、丸山両監事に対して系の現状報告を行った旨の説明があった。

続いて、増子監事（業務担当）、丸山監事（会計担当）から、次のとおり報告、意見が示された。

増子監事からの主な報告、意見について

- 大学全体として、中期目標に掲げてある事項について、その目標達成を目指し、各系とも努力していると感じられる。
- 大学院進学率は高いが、社会状況、経済的な理由に伴う家庭事情等により、以前に比べるとその割合は下がっている。今後もこの水準を維持するために奨学金制度その他生活援助の充実により、学生が安心して教育研究に打ち込める環境を作ることが望まれる。
- JABEEを受審している、あるいは既に認証を受けている系については、特に教育課程及びシラバスの整備が進んでいると言える。
- 学部・大学院の一貫教育を入学者の受入方針としていることから、教員にとっては、最大で学部入学（18才）から大学院博士後期課程修了（27才）までの9年間の教育を担当されることになる。この間の進学段階に応じた教育プログラムを提供し、学生の要求を満足させた上で、成果を挙げていることは素晴らしいが、教員にとっては大きな負担となっている。シニア教員は教育を、中堅教員は研究指導を中心とする体制が良いのではないか。
- 工学の守備範囲が広がるのに対応し、大学としてもその対応範囲を広げて来ている。今後、この広がって来た新分野への取組みが期待される。

丸山監事からの主な報告、意見について

- 教員によっては、基盤教育経費・基盤研究経費が、年度当初予算からマイナスになっている。一般的にはあまり考えられない。
- 予算は、各教員毎に管理されているが、研究が研究室単位で行われているの

であれば、研究室単位での予算管理体制も必要ではないか。

- 12月時点で予算の執行状況が悪く、年度末までに執行が可能なのかと思われる系がある。
- 寄附金は、各教員にその予算管理を任されているが、系長だけでも、系全体の金額及び予算執行状況等を把握しておく必要があるのではないか。
- 教員個人の研究費で購入し、その後、不要となった機器類、物品等を系全体及び大学全体で共有及び使用するような体制になっていない。このような場合に、学内HPで周知する等、有効活用するための方策があった方が良いのではないか。

以上の増子、丸山両監事からの報告、意見を受けた後、予算執行の実情、教員評価等についての意見交換が行われた。

4 その他

(1) 平成17年度高専機構・技大協議会及び両技大懇談会の開催について

事務局長から、豊橋技術科学大学主催で2月20日(月)にグランドアーク半蔵門(東京都千代田区)にて、標記協議会及び懇談会が開催される旨の報告があった。

また、学長から、増子、丸山両監事にも都合がつく限り、出席願いたい旨の依頼があった。

以上